

今小路通り歩行者尊重道路 専門部会ニュース

第 4 号

平成 18 年 9 月 発行
今小路通り歩行者
尊重道路専門部会

第4回専門部会を8月9日に開催しました。

第2回ワークショップを開きました。

前回に引き続き今小路通りの問題点の洗い出しを行いました。

また、御成小学校5年生63名の皆さんが「今小路通り歩行者尊重道路」の整備計画案づくりに協力することになりました。



「今小路通り通」を目指して

■ 今小路通りを題材にクイズを行いました。

普段見慣れているはずの今小路通りも勘違いや見落としていたことが沢山あり、委員の皆さんも苦笑いの連続でした。
委員の皆さんの共通認識を高めることにより、「今小路通り歩行者尊重道路」の計画案づくりに役立てたいと考えています。

■ 問 題

Q:今小路通りと鉄の井には、電柱・信号柱あわせて70本以上ある。○か×か？（照明・街路灯を除く）

□ 答え 「○」76本
（電柱68、信号柱8）

Q:六地藏交差点と鉄の井の県道までの間で、横断歩道のある交差点は5箇所である。○か×か？

□ 答え 「×」7箇所
（六地藏、御成中学校入口、御成小学校前（佐藤病院）、市役所前、佐助稲荷入口、寿福寺前、鉄の井の県道接続部）

Q:今小路通りに隣接する駐車場は、15箇所以上ある。○か×か？（個人・マンションの駐車場や公の施設、今小路通りから離れた駐車場を除く＝営業目的に限る）

□ 答え 「○」16箇所
（約298台）

発表事項

Aグループ

①駐車場の問題

・駐車場の出入りをしっかりしてほしい。出入りによる渋滞が考えられる。(安全性の問題)

②電柱に関する問題

- ・電柱の地中化を考慮してほしい。(増設させない。)
- ・電柱があると歩行者は安全か？
- ・電柱により視界が妨げられる。(運転手も見づらい。)

③案内標識の問題

- ・案内標識の改善(出来ることからすぐにやるべきである。)(小町踏切、寿福寺等)



Aグループの作業マップ

関連する主な意見・その他

□ 道路施設に関すること

●歩行者の視点

・信号待ちの時、歩行者のたまり場がない。(市役所前交差点)

●運転者の視点

・道は狭いが車での運転に問題ない。(全体)

□ 自動車に関すること

●歩行者の視点

・今小路通りは自転車での買い物は危ない。横須賀線東側の道路が安心(車がないから)。

□ その他

- ・緊急車両の入れるところが限られている。
- ・今小路を通らなくてもあまり不自由を感じない。

(市役所方面へは、小町通り～地下道～市役所へ至るルートを使う。)

(鎌倉駅へは、由比ガ浜～御成商店会～鎌倉駅に至るルートを使う。)

・すぐできることをしてほしい。(全体)

・観光客へのアピールをしないでほしい。(全体)

□ 巖小路の地名の由来

馬場小路付近から巖堂までの道。路名は巖堂に由来する。巖堂の南、東西に山裾を通り西の寿福寺側から鉄ノ井に至り八幡宮、若宮大路へと通じていた武蔵大路の道筋にあたる。

巖堂は雪ノ下二丁目にあり、岩谷堂、岩井堂とも。本尊は不動、宗旨未詳。

東西に山裾を通り西の寿福寺側から鉄ノ井に至り八幡宮、若宮大路へと通じていた道筋の北側の巖不動のこと。文治四年(一一八八)一月一日条「窟堂下の佐野基綱宅が焼け、数十字の人家羅災」が初見。同年十月十日条「窟堂の聖阿弥陀仏房が勝長寿院に参詣の帰途、八十四歳で道路上で頓死」した記事がある。

この僧が長く堂守であったならば窟堂は頼朝入府以前から存在したと考えられる。のちに窟堂は鶴岡八幡宮別当の支配下に置かれ、應永三十三年(一四二六)七月十七日の別当尊運の避状(神奈川県史資料編三)によると、供僧の等覚院快季が卵塔を建てるにあたり「岩井堂日金」の所を与えている。この文章は松源寺の所蔵となつていことから松源寺の管理下にあつたらしい。松源寺、廃寺、真言宗。日金山弥勒院松源寺と号し、本尊は頼朝帰依の地藏菩薩(現、横須賀市武の東漸寺に移安)。巖堂に隣接していた。

出典 鎌倉地名由来辞典

Bグループ

①人も車も増える傾向にあり、実施可能な計画をつくり実施すること。

- 交通規制の変更
- 駐車場の出入口の形態や誘導方法
- 部分的な改良

②人・車の問題に加え、人力車も計画課題とすることが望ましい。



Bグループの作業マップ

関連する主な意見・その他

□ 道路施設に関すること

●歩行者の視点

- ・路上に置かれている看板が歩行の邪魔になる。
- ・イメージハンプの効果が無くなってきている。(小町踏切)

●運転者の視点

- ・電柱が邪魔。(ドライバーの立場)
- ・右折する車の待機場所がない。(寿福寺付近)

□ 自動車に関すること

- ・連休の時は初日の交通量が多い。
- ・休日の混雑解消は難しい。
- ・駐車場への車の出入りにより混雑が生じている。(市役所交差点付近)
- ・平日も休日も交通量が多い。昔より交通量が増えている。

□ 交通規制に関すること

- ・住民にとって交通規制に問題がある。(中学校入口交差点)

□ その他

●人に関すること

- ・観光客が多く道路が人で溢れてしまう。(歩行者天国のよう。)(市役所交差点～寿福寺～鉄の井及び小町通り)
- ・お店が増えたことで人通り多くなっている。
- ・テレビや雑誌等のメディアが鎌倉に関する情報を発信するので、観光客が多くなると考えられる。
- ・GW時には人が多すぎて車が通れない。

●人力車に関すること

- ・人力車は朝8時前から営業を開始するので、朝のラッシュ時に支障が生じている。(六地藏付近)
- ・人力車が狭い道に入ってくる。
- ・人力車は夜間の視認性が悪い。

●その他

- ・出来ることから対策を講じる必要がある。

編集後記

御成小学校では、毎日の登下校で使う「今小路通り」を身近な道路として総合学習で取り上げ、子供たちの目から見た「今小路通り」の課題や問題点について、5年生63名が「今小路通り探検隊」を組織して、調査することになりました。

今回の小学校の取り組みは、子供たちが計画案づくりに協力することで、地域で生きているという実感を育てたいということから行うもので、この調査結果は後日、専門部会委員を小学校に招待して、発表会を開くとともに、地下道ギャラリーでも発表することになっています。

計画案づくりに当り、専門部会の皆さんや御成小学校5年生の皆さんなど、多くの方の協力が得られたことに感謝するとともに、素晴らしい計画案が出来ることを期待しております。

また、最近、歩きやすい道を求める声が多く聞かれます。このような活動が各地域で広がり、鎌倉が「歩いて楽しいまち」になれば素晴らしいことだと思います。

Cグループ

発表事項

- ①スピード制限を厳しくしてほしい。(スピード測定をしてほしい。)
- ②売地を買収して幅員を広げる。



Cグループの作業マップ

関連する主な意見・その他

- 道路施設に関すること
 - 歩行者の視点
 - ・車椅子やベビーカーなどは、電柱の間を通行できないので、道路の中央に出なければならない。
 - ・乳母車などのすれ違いが不便（老人の方など）
 - ・歩道がない。（小町踏切）
 - ・整備して楽しんで歩ける道に出来ないか。
 - ・開発事業の際、歩道をつくる分くらい道を広げる指導が出来ないか。（六地藏～福祉センター入口）
 - ・道路の幅員が狭い。歩道をつくるスペースがない。（六地藏～福祉センター入口）
 - ・電柱の地中化。景観を良くする。道路の幅を広くする。電柱に代わる別の施設をつくり歩行者を守る。
- 自動車に関すること
 - ・夕方の車の交通量が多い。
 - ・道に迷った車が民家の敷地を使ってUターンしていく。
- 交通規制に関すること
 - ・旧安保医院からそば店へ出る道を一方通行にできないか。
 - ・大型車規制だけでなく、もう少しきびしい規制が出来ないか。
 - ・交通規制を変更して若宮大路に抜けられる道をつくるべき。（別の規制が出来ないか。）
- その他
 - 人に関すること
 - ・冬以外は歩行者の量はあまり変わらない。
 - ・マナーの悪い人がいるため、歩行者と車の共存は難しいのではないか。
 - 人力車に関すること
 - ・人力車の走行に問題がある。
 - その他
 - ・GW等の特別な日ではなく、普段の日の環境を考えたい。

専門部会の傍聴者募集

第6回今小路通り専門部会は、平成18年10月18日（水）午後6時から鎌倉市福祉センター（2F）で開催します。

市内にお住まい、またはお勤めの方なら原則、どなたでも傍聴できます。

今小路通り歩行者尊重道路専門部会事務局（交通政策課）までお申し込みください。

TEL:0467-23-3000（内線2511）

FAX:0467-23-8520

E-mail koutsu@city.kamakura.kanagawa.jp